送電線

かしこく・なかよく・元気よく

『子どもの笑顔があふれる学校』『地域の風が行き交う学校』

令和２年度　２月　１２日　１８号

◎６年生の活動◎

ＪＩＣＡの方のお話　（１月１５日）

　海外派遣協力隊２名の方が来校、６年生に海外の話や英語以外の言葉についてお話しくださいました。
　キルギスで活動されていた鈴木さんは、２年間、現地で看護師として活動してきたとのこと、現地の家の様子などを話してくれました。また獣医師の西野さんは今までにエルサルバドルやパラグアイ等３カ国に行って、動物の伝染病から家畜を守る仕事に行ってきたことやスペイン語を教えてくれました。
　短い時間でしたが、貴重なお話を聞く機会ができました。６年生のみなさんが海外にも目を向ける機会になったらと思います。

「コサージュ作り」（１月２２日）

　いよいよ卒業式に向けて、６年生がコサージュを作りました。当日は６年の学級委員さんが早めに来校し、コロナ対策等も含め準備をしてくださいました。ありがとうございました。
　その甲斐あって、すてきなコサージュができあがり、卒業式の準備も一歩進みました。卒業式まであと２ヶ月、学習面も生活面もしっかり準備し、上陽小を巣立ってください。

「租税教室」　（１月２９日）

　役場の税務課の方に講師として来ていただき、租税教室を実施しました。アニメを見て、税金のある生活とない生活でどのような違いがあるかを友達と考え合いました。警察や消防、道路の整備、ゴミ処理など、身の回りのことが税金で支えられているということに気付いたと思います。

「運動集会」　（２月８日～１０日）

　今年度最後の運動集会を、８日（１，６年生）９日（３，４年生）１０日（２，５年生）で行いました。
　写真は、６年生が前に出て、１年生と一緒に縄跳びをしているところです。６年生の縄跳びのすごさが、１年生に伝わったのではないでしょうか。
そして１年生もすぐに６年生のように上手になるのでしょうね。

「１年生の凧揚げ」＆「３年生の手作りお囃子」

（１月２６日）

１年生が地域の方の田んぼをお借りして、凧揚げを体験しました。凧には自分で絵を描いて、それが大空に揚がったときはとてもみごとでした。この体験は藤川をきれいにする会の関口さん、玉村町凧の会のみなさん、保護者ボランティアの方々のご協力をいただくことで実施することができました。ありがとうございました！

また同時に、３年生が音楽の時間にリコーダーや太鼓、鐘を組み合わせて創ったオリジナルのお囃子を演奏しました。手作りのお囃子が広い田んぼで鳴り響くのはとても気持ちがよかったです。

（３年生のお囃子演奏）

（１年生の凧揚げ）

…　ＩＣＴを活用しての取り組み　…

①　遠くの学校とつながって

大震災から１０年、絵手紙で交流している女川小学校の子供たちと初めて Zoom を使って対面しました。当日は町役場の畑中さんと絵手紙の筑井さんにも参加していただき、３年２組で行いました。女川小とは直線で３００㎞以上あり、今までなら授業の中で交流するということはなかなかできませんでしたが、それが簡単にできてしまう今の世の中に驚かされます。

（３年２組）

（３年２組）

授業では、子供たちが Zoom の映像を通して、お互いの学校の様子や地域の特色を発表し合いました。その中で女川小の子供が座っているイスが青かったり、廊下（ホール？）が広かったり、上陽小と違うところを見つけて驚いていました。群馬県以外の学校の様子が新鮮に映ったことと思います。

震災から１０年目に交流会ができたことで、今後も女川小学校の子供たちといろいろな面で協力していけたらいいと思いました。

②　いよいよ一人一台の時代へ

上陽小にも一人一台のＰＣが教室に入りました。本格的に使用するにはもうしばらく準備に時間がかかりそうですが、２６日には５年生のクラスでＰＣを使った提案授業が行われました。内容は一人一人がプログラミングでいろいろな正多角形を作成することを通して、図形の性質を見いだしたり今までの学習内容を振り返ったりしました。子供たちは試行錯誤しながらも、図形をどんどん作っていく姿にビックリしました。子供たちの学ぶ力、身に付けるスピードのすごさを改めて感じました。

（５年１組の授業）